

青森市出身の植物学者

郡場寛の功績知って

弘前大で示  
展

青森市出身の植物学者

で、弘前大の第2代学長を  
務めた郡場寛（1882

～1957年）を紹介する

企画展が、青森県弘前市の  
同大資料館で開かれてい  
る。日本統治下にあったシ  
ンガポールの昭南植物園

（現シンガポール植物園）

園長時代、戦禍から園を守  
った功績などを伝える。

郡場は、昭南植物園で英  
国人の元園長らを捕虜にせ  
ず研究を続けさせ、標本や  
資料の散逸を阻止した。企  
画展では、当時の新聞記事

や手記、農学部創設に尽力  
した弘前大学長時代の写  
真、タイプライターやかば  
んといった愛用品など約50  
点の資料が並ぶ。



園長を務めた昭南植物園の写真  
や郡場の関連資料が並ぶ企画展

郡場は東京帝大を卒業  
後、東北帝大講師や京都帝  
大理学部長を経て、194  
2年に陸軍司政長官として  
シンガポールに派遣され  
た。52年に弘前大学長に就  
任。弘前公園の管理にも携  
わった。

展示担当で同大農学生命  
科学部の中村剛之教授は  
「郡場の研究姿勢は目指す  
べき手本。学問を修める人  
が自らの学び方を再考する  
機会にしてほしい」と話す。

19日まで。入場無料。連  
絡先は資料館0172（3  
9）3432。